

# 「今こそ減らせ食ロス！2050年に向けた第1歩！」 世田谷区「3daysセミナー」イベントに参加しました

## セブン&アイ・フードシステムズ

2021/04/22



CSRアクション

株式会社セブン&アイ・フードシステムズ（東京都千代田区二番町8-8）は2020年11月14日（土）～16（月）に開催された世田谷区の3days環境セミナー「今こそ減らせ食ロス！2050年に向けた第1歩！」の中で、リモートにより実施されたリレートークに参加いたしました。

ここではセブン&アイ・フードシステムズの食品ロス削減の取り組みと、当社をはじめとした外食5社合同による食品リサイクルループ※について発表いたしました。セブン&アイ・フードシステムズはこれからも、こうした自治体他様々なステークホルダーとの連携を深め、環境課題への取り組みとその発信を進めてまいります。

※外食5社合同食品リサイクルループ・・・競合関係にある外食事業者合同による取り組みとして、2020年7月、日本で初めて国の「食品再生利用事業計画認定」を受け、同12月「食品産業もったいない大賞農林水産省食料産業局長賞」を受賞（下図参照）。



環境部会（業務部庶務）  
中上 富之

### <※世田谷区クリーン通信>

**世田谷クリーン通信**

特集 **今こそ減らせ食品ロス！2050年に向けた第一歩！**  
～「エコな企業へ」実践を目指す3daysセミナー Part3～

◆ゼロエミッション東京戦略では、2050年までに食品ロス発生量実質ゼロを目指しています。

**セミナー** 日時：令和2年11月16日（月曜日） 13:30～16:00

〈基調講演〉「食品ロス・食品廃棄物を減らすために地域で事業者ができること」  
講師：百瀬 則子氏  
ワタミ株式会社 SDG推進室部長、中部SDG推進センター副代表

4 食品リサイクルループ（再生利用事業計画）の認定制度の活用  
～循環圏を拡大するより地域内での循環を進める～

### <リレートーク>

1,	入江 満美氏（東京農業大学 准教授） 「東京農業大学学食におけるアプリ「TABETE」の導入について」
2,	矢萩 陽子氏（（株）セブン・イレブン・ジャパン） 「商品開発、地産地消（食材の活用）、商品寄贈などを通じてお客様・お客様と共に食品ロスに取り組む」
3,	中上 富之氏（（株）セブン&アイ・フードシステムズ） 「飲食業の責任、パートナーシップ&リデュースを最優先に」
4,	白井 徹氏（白井グループ（株）） 「AIを使った配車で収集を効率化。収集運搬車両と費用を削減し、サステナブルなWin x Winの街づくりへ」
5,	前川 寛氏（中部有機リサイクル（株）） 「年間13000tの食品循環資源を受入れ「飼料化」を推進」
6,	盛下 学氏（バイオエナジー（株）） 「食品残渣を需要の高い電気に再生、1日3900世帯分の発電」
7,	加能 裕一郎氏（（株）プロトリーフ） 「夢ひろがる世田谷区サステナブル計画（農業・園芸を通じて）」

※世田谷区クリーン通信 区内事業者向けに発信している環境情報です



12 つくる責任  
つかう責任



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



関連情報

### パートナーシップによる環境推進

②食品リサイクル-1 外食5社連携によるリサイクルループ認定



### <当日の発表資料抜粋>

#### ■本来ライバル関係の

外食5社による連携

セブン&アイ・フードシステムズ  
トリドールホールディングス  
松屋フーズ  
リンガーハットジャパン  
ワタミ

世田谷区 清掃・リサイクル部事業課指導許可担当

<https://www.city.setagaya.lg.jp/>